

# 地域食資源高付加価値化推進事業

## 現状と課題

- 本県には優れた食資源（農林水産物）が多数存在
- 消費マインドの変化： 国産回帰の機運の高まり、地産地消（応援消費）の広がり
- 消費行動の変化： 巣ごもり需要の拡大、ネットスーパーの伸長、配送の多様化



「本県の宝・強みとなる食資源」の高付加価値化や新たな活用に向けた仕組みづくりが必要

## 「ローカルフードプロジェクト（LFP）」

### 食資源の高付加価値化に向けた課題

#### 例1) A 「宮崎ならではの」の6次産業化の推進

- 個別の取組に加え、「地域ぐるみの6次産業化」を推進



#### 例2) B 産地づくりに重点を置いた農商工連携の推進

- 食品加工のニーズに対応した加工向け産地を育成



#### 例3) C 中食・内食等新ビジネスの創出

- 新しい生活様式に対応した新ビジネスを創出



### 課題・ニーズ

### 推進体制

機動的に「個別プロジェクト」を立ち上げ、課題解決に向けた取組を実施



招聘

派遣

#### 消費地のプロ集団



## 事業概要

### ①推進組織運営事業

- 推進組織（LFPプラットフォーム）の設置・運営、体制の強化

### ②実践支援事業

- プロジェクトにおける活動・実践を支援
  - ・高付加価値化に向けた活動経費
  - ・専門家招聘等

### ③施設等整備事業

- 高付加価値化等に取り組むための施設・機械整備を支援

## 効果

「ローカルフードプロジェクト」の展開・拡大による地域経済の活性化